

令和3年度 岡山市子ども・子育て会議 第1回就学前教育・保育部会（議事録／要約）

日時：令和4年3月17日（木）午後3時08分～午後4時01分

場所：岡山市勤労者福祉センター4階 大会議室

【開会】

○部会長挨拶

○成立確認・・・委員13人中11名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

【議事】

議事進行は部会長

(1)保育の利用定員の設定について

〔事務局から資料に沿って説明〕

委員 待機児童数が減ったことは良いことだが、一方で人手が確保されているのかが心配。また、特別支援が必要な子どもが増えてきていると認識しており、支援員についても適切な配置をお願いしたい。

事務局 公立園では、必要な人材の確保が非常に大切と考えており、安定した運営がなされるように人材確保をしていきたい。

事務局 私立園では、補助金を2年ほど前に大幅に加算したところ。児童2人に対して1人加配をすれば月17万円の補助を加算し、保育の現場で障害児等を預かりやすくなるような施策をしている。

委員 長い間保育士が不足していた状況であったが、現状は落ち着いてきたのか。

事務局 保育士不足の園の割合が減っており定員まで預かれる園が増えており、充足してきているという感覚を持っている。

委員 定員を減らしているところは保育士不足が原因ではないように思う。保育士が手薄になると事故につながっていく。保育士の確保をいま一度手厚いものをお願いしたい。

委員 公立園でも保育士不足は非常に厳しい実態があり、なかなか改善されていないという現場の感覚。

あと、保育利用定員の増減で定員は1万8,870人ということだが、利用の見込

みに対してどうなのか。定員と実際の利用量がどうなっているのか。

事務局 令和3年4月1日時点の保育利用定員は1万8,820人で、申込みについては1万8,875人となっている。受け皿は認可外の企業主導型等を全部含めると2万871人となっている。

令和4年4月については、認可の利用定員は1万8,870人になる予定で、支援事業計画の見込みとしては認可外を含めて2万1,400人を見込んでいた。数字はまだ確定はしていないが、2万1,400人には届いていないという状況。

委員 令和3年度の見込みが2万1,400人で、実際の数字が1万8,875、令和4年、令和5年、令和6年度の2万2,200の数字だが見直す予定はないか。

事務局 量の見込みが実際の申込みよりも多過ぎるのではないかという点について、量の見込みまで申込みは伸びていないというのは確かではあるが、平成31年にお子さんのおられる保護者の方へのアンケート結果として、就学前人口に対して65%程度の方は保育所を希望されているため、推計される就学前人口の65%程度の数字を量の見込みとして算出しており妥当だと考えている。

実際に保育の申込みをされている方は、まだ65%には届いていない状況であり、今後保育園に入りやすくなったことで、潜在的なニーズが顕在化し、申込みをされてくるということも十分考えられ、現時点で量の見込みを大幅に修正することは考えていない。

委員 定員を減らしている園が幾らかあるが、その理由を教えて欲しい。

事務局 法人の個別事情についてお答えすることはできないが、今回の定員減は、受入れている実際の人数、昨年度の受入れ人数などを勘案して、それに合わせて利用定員を減らしているという実態がある。

実態に合わせて定員を減らしていくので、今入っている子どもたちが入れなくなってしまう状況ではない。

部会長 他の委員さん、いかがか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(2)個別施設計画（幼稚園、保育所、認定こども園）について

[事務局から資料に沿って説明]

委員 地域関係者や保護者等の一定の理解が得られたら進めるということだが、一定の理解とは。

事務局 具体的には地域の中で協議会を設置いただくとか、協議会がなくても連合町内会や保護者の説明会、そういった機会を捉えて丁寧な説明をさせていただいた上で、皆様のご意見をお伺いし、理解を得た上で進めさせていただいている。

また、協議会を通じて地域への回覧など、幅広くいろんな方に状況を知っていただくために、地域の方にもご相談させていただきながら周知に努めている。

委員 その一定の理解をしてもらう対象の中に、幼稚園とか保育園をこれから使う利用者の声がどこに十分反映されるのか分からない。これから子どもを産み、育てる方々の声が十分反映されるのか。

事務局 先ほど協議会等でご意見をいただくと話をした。その中に親子クラブの未就園の保護者の代表の方、幼稚園、保育園の保護者の皆様に入っていただく地域が多くある。また、民生委員さんや愛育委員さんをはじめとした常日頃から地域の子どもの育ちを支えているような方、さらには、交通安全母の会、町内会長さん、園長先生などが入っていただく組織を立ち上げ、議論いただき、民営化等の方向性をいただいている。付け加えて、協議会には入っていないが、未就園の皆さんの親子クラブというようなところに出向いての説明会も順次行っている。

委員 親子クラブは存続の危機で、今年から活動できないところがたくさんある。その声を聞くとと言われても誰に聞いているのか。親子クラブの方々の声は打ち消されており、どう動けばよいか分からない方たちの声を聞いてくださる気があるのかというのは大変疑問だ。

まだ0歳の方や今から子どもさんが生まれる方たちの声、まだ声になってない声を聞く努力をしていただかないと、一定の理解は得られないと思っている。

事務局 各学区によっては、町内会長が未就園の子どもを含めたアンケートを実施し集約していただいたエリアもある。未就園の方も含めて、ご意見をいただけるよう努力しており、今後も重要な視点だと考えている。

委員 竜之口学区では、「考える会」を学区のお母さんたちが立ち上げて、一緒に勉強している。中学校区に1つの公立こども園という市の方向性は間違っていると考えている。

竜之口学区には、幼児教育施設が竜之口幼稚園しかなく、一番近い保育施設が

他学区という地理的な問題を背負っている。1つの中学校区に公立こども園が1つしか整備されないというのはあまりにも理不尽。

また、園児数の減少は3歳児保育が行われていないことが理由であり、園児数を増やすための努力を全くしないことも問題。各中学校区、それぞれ異なる事情を抱えており、一見平等のように見えるが、子育てしている方たちへの思いやりが全く感じ取られない。

もう少し柔軟な見直しができる方向性を持っていただけないのか。愛育委員会は生まれた方が幼稚園とかこども園に入られるまでの、どこにも行き場がない方たちの応援をしている。その人たちの声は本当に届きにくいので、間違った方向性はぜひ正していただきたい。

事務局 全国的にみて、岡山市は公立がとても多いが、様々な価値観がある中で、国全体の中では私立が圧倒的に多い状況であることは、知っておいていただきたい。

様々なことを考慮した上で、中学校区に1つ、セーフティーネットとしての役割を持つ公立の認定こども園を整備することは、市の方針であるも知っていただきたい。進めるに当たっては、無理強いではなくて、一つ一つ理解をいただきながら、また就学前のご家庭の意見が届きにくいのであれば、地域の方もどうすれば届くのか、どう組織すれば届くのかということを考えていくという現状なので、ご理解をいただきたい。

部会長 委員から切実な思いを語っていただいたが、今までのこの会議では、事務局が言ったような方向で話を進めてきた。しかしながら、それぞれの地域で個別の事情もあるので、その地域で意見を代表して、あるいは皆様の意見を聞いて行政に発言していただいたら良い。この会では、今まで様々な方々の意見を聞いた上で議論をし、市の方針というのは進めているところ。

委員 もちろん理解はしている。

部会長 委員の話をここで取り上げて議論するという事は難しい。そういう意見は地域の中で行政にお伝えをいただくということではよろしいか。

委員 それでいいが、地域の中でうまく事が進んでいかないとすれば、そこに対して十分な配慮や気配りが必要なのではないかという視点を持ち、何が平等なのかという議論をきちんとしていただきたい。公立の園がセーフティーネットであるという認識が行政にあるとすれば、当学区にはセーフティーネットがなくなるとい

うことになり、それで良いのか本当に疑問に思っている。

部会長　　そういう意見を地域でお話しいただけたらと思う。この会議としても、最終的には地域との話し合いを大事にしながら事業を進めてくださいとお伝えしている。今のようなお話は、地域で行政に届けていただきたい。

委員　　市に届けていただきたいと言われたが、実際には届けても難しいという状況があるため発言されていると私は認識している。中学校区に1つというのは決まっているが、中学校区は様々な範囲があるため、全部カバーできるのかという点では疑問の声は当初からあったように思う。

また、財田学区の動きとしては、地域の中からは、4園を1園に統合するのではなく、2園つくれないう声もあったと聞いている。しかし結果として1園に統合するという事実があるので、今後の私立園に係る整備計画が示されたほうが良いのではと考える。

事務局　　財田学区の4園の統合については、地元からのご発議で協議され、地元の愛育委員、主任児童委員、そしてPTA、保護者、連合町内会の役員の方で構成された協議会でご議論いただいた結果であることはご理解いただきたい。

部会長　　今までのこの会の経緯として方向はあるが、最終的には地域との話し合いが一番大事である。個別の件についてこの会は入り込むことはできないが、行政には基本線はありながらも地域の実態に応じて対応していくことをお願いする。

ほかの委員さん、いかがか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(3)その他

部会長　　その他の項で何かあるか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

閉会